

第75回舞踊学会大会

- 日時：2023年（令和5年）12月2日（土）・3日（日）
- 会場：東洋大学 白山キャンパス 6号館
- 主催：舞踊学会
- 大会テーマ

ポストコロナの舞踊と舞踊学－ダンスの未来を考える－

1. 企画の趣旨

2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がもたらした「コロナ禍」は、現代社会に深く広い影響を及ぼし、本質的な社会変容をもたらした。舞踊界への影響も甚大であり、学校内外における舞踊教育、民族・民俗舞踊の実践、劇場舞踊の創作・上演、そして舞踊研究のいずれにおいても、コロナ禍との格闘を余儀なくされた。しかし、そのコロナ禍による活動制限も、2023年に入ってようやく終息が見えてきた。そこで、本学会としてコロナ禍以降の舞踊を改めて考察・検討するために、「ポストコロナの舞踊と舞踊学」という大会テーマを設定した。

第75回舞踊学会大会は、さまざまな領域でダンスに関わる人々の知恵を合わせ、ダンスの未来を共に考える場となることを目指して企画されたものである。

2. 大会プログラム

(1) 全体

1日目：12月2日（土）		2日目：12月3日（日）	
9：30 受付開始 [6号館1階ロビー] 10：00 主催者挨拶		9：30 受付開始 [6号館1階ロビー]	
10：10～12：00 一般研究発表 [6204・6209教室]	10：10～13：30 ポスター発表 [6102教室]	10：10～12：00 一般研究発表 [6204・6209教室]	10：10～13：30 ポスター発表 [6102教室]
12：00～13：30 昼食休憩 12：10～13：20 理事会		12：00～13：30 昼食休憩	
13：30～14：20 総会 [6101教室]		13：30～15：50 企画シンポジウム [6101教室] 「ポストコロナの舞踊と舞踊学」 舞踊研究…齋藤尚大（横浜カメラアホスピタル） 舞踊教育…寺山由美（筑波大学） 民俗舞踊…吉田純子（文化庁文化財第一課） 劇場舞踊…唐津絵理（愛知県芸術劇場）	
14：30～16：30 基調講演 [6101教室] 「パンデミックと舞踊の形而上学」 三浦雅士（文芸評論家・舞踊批評・ 日本芸術院会員・舞踊学会理事）		15：50 閉会挨拶	
17：00～19：00 懇親会 [2号館16階スカイホール]			

(2) 一般研究発表

20演題（口頭発表15分，質疑応答5分）

1日目：12月2日（土） A会場（6号館2階 6204教室）

時間	発表タイトル・発表者	座長
10：10～10：30	「何かになる表現」場面で自分なりの身体表現をする幼児と定型的な身体表現をする幼児のイメージと動きの差異と特徴 村瀬瑠美（千葉敬愛短期大学）	福本まあや
10：30～10：50	全身連動性を伴うゆっくり動くムーブメント・アプローチ作成へ向けた質的検討 清水知恵（福岡教育大学）	
10：50～11：10	題材のイメージを身体であらわすための学習者の特性：題材から動きにすることができない者に着目して 齋藤瀬奈（筑波大学大学院）	
11：20～11：40	ダンス活動が高齢者に与える影響：地域との関わりや健康への意識について 古屋敷琴乃（日本女子体育大学大学院）	塚本順子
11：40～12：00	大学生のダンス創作活動における意識の変容：教員養成課程のダンス授業に注目して 杉山りん（お茶の水女子大学大学院）	

1日目：12月2日（土） B会場（6号館2階 6209教室）

時間	発表タイトル・発表者	座長
10：10～10：30	複製技術とリアリティ：敷地理振付作品『blooming dots』をめぐって 越智雄磨（東京都立大学）	富田大介
10：30～10：50	スクリーンダンス（screendance）のジャンル分けに関する一考察：ポストメディウム時代のダンスと映像について 松岡綾葉（彰栄保育福祉専門学校）	
10：50～11：10	ストリートダンスにおけるジャンル比較研究 藤田明史（関西学院大学）	
11：20～11：40	A. サン＝レオン著『ステノコレグラフィ』におけるグリセの変容 赤塚健太郎（成城大学）	森立子
11：40～12：00	薄井憲二出演『白鳥の湖』フィルム 齋藤慶子（大阪公立大学）	

2日目：12月3日（日） A会場（6号館2階 6204教室）

時間	発表タイトル・発表者	座長
10：10～10：30	高齢者施設におけるダンスプログラム研究：即興表現の特性と影響に着目して 岡千春（お茶の水女子大学）	八木ありさ
10：30～10：50	ダンス研究の文献翻訳における難しさと課題：マーサ・エディ著「ソマティック実践とダンスの小史」の翻訳プロセスから 橋本有子（お茶の水女子大学）・村越直子（武庫川女子大学）	
10：50～11：10	自然運動を基盤としたMadge Atkinsonのダンス教育：1920年代の実践に焦点をあてて 廣兼志保（島根大学）	
11：20～11：40	身体運動体験を通して舞踊を鑑賞する 根岸咲和（日本女子体育大学大学院）	寺山由美
11：40～12：00	リクライニング&ライジング：イサドラ・ダンカン芸術舞踊について 中里有輝子（社会人 一般）	

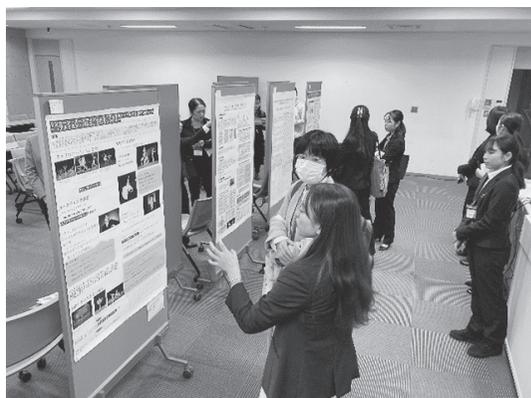
2日目：12月3日（日） B会場（6号館2階 6209教室）

時間	発表タイトル・発表者	座長
10：10～10：30	郷土芸能の拡散と収斂：ポストコロナの朽木古屋六斎念仏踊り 武藤大祐（群馬県立女子大学）	波照間永子
10：30～10：50	「Creativity（創造性）」が社会的課題に及ぼす影響について：コミュニティダンス雑誌『Animated』（1997～2023年）の分析を手がかりに 堀内まゆみ（北海道大学大学院）	
10：50～11：10	民族舞踊の教材活用の可能性を探る3：家庭分野での和服着装と盆踊りのプログラム 弓削田綾乃（和洋女子大学）・長島未玖（和洋女子大学大学院）・柴田優子（和洋女子大学）	
11：20～11：40	メルロ＝ポンティの知覚における運動性：その重要性と現在における意味 柿沼美穂（東京工芸大学）	外山紀久子
11：40～12：00	ダンス作品の存在論と因果的つながり：唯名論の視点から 児玉北斗（芸術文化観光専門職大学）	

(3) ポスター発表

12月2月（土）・3日（日）10：10～13：30 ポスター会場（6号館1階 6102教室）

発表者	発表タイトル
小林園子（関西大学大学院）	リンカーン・カースティンによる「アメリカン・バレエ」のプロデュース：「アメリカン・バレエ」というレッテル
小林暖加（お茶の水女子大学4年）	「八月踊り」の継承に関する研究
野邊壮平（宮崎大学研究・産学地域連携推進機構）・豊福彬文・児玉孝文	地方のアーティストが拓くダンスフェスティバルの可能性
ウンドーリル（お茶の水女子大学大学院）	中国における舞踏（BUTOH）の展開について
塚本順子（天理大学）・山口孝治	舞踊経験者および舞踊未経験者における舞踊作品鑑賞力の比較検討：作品鑑賞後の感想文を手がかりに
鈴木純（東北文教大学短期大学部）	3Dダンス学習支援教材の作成に向けた予備調査：ダンス部における実態と課題
齋藤萌々子（お茶の水女子大学大学院）	コンタクト・インプロヴィゼーションが可能とし得る自他関係についての考察：ダンス学習における学習者の羞恥に着目して



3. 特別企画

(1) 基調講演

日時：2023年12月2日（土）14：30～16：30

会場：東洋大学 白山キャンパス 6号館1階 6101教室

論題：パンデミックと舞踊の形而上学

講師：三浦雅士（文芸評論家・舞踊批評・日本芸術院会員・舞踊学会理事）

(2) シンポジウム

日時：2023年12月3日（日）13：30～15：50

会場：東洋大学 白山キャンパス 6号館1階 6101教室

論題：ポストコロナの舞踊と舞踊学

パネリスト・発表タイトル

舞踊研究…齋藤尚大（横浜カメラアホスビタル）

「スペイン風邪とラバン」

舞踊教育…寺山由美（筑波大学）

「これはコロナのせいなのか？－舞踊教育との関連」

民俗舞踊…吉田純子（文化庁文化財第一課）

「コロナ禍を経た民俗舞踊の現在」

劇場舞踊…唐津絵理（愛知県芸術劇場）

「舞踊芸術におけるパラダイムシフト」

司会：海野敏（東洋大学）・福本まあや（お茶の水女子大学）

